

信濃美術館整備事業

県民リレー・ワークショップ

これまでの意見交換会等から見えたもの Ver. 1
(2017. 08. 24 現在)



●ミニ・フォーラム



▲ミニ・フォーラム in 信州大学



■キックオフ・フォーラム

- 松本参与と県民との意見交換会（ミニ・フォーラム）
(2017. 2. 24 長野/3. 14 飯田/4. 13 松本/4. 26 小諸)
- ▲信濃美術館整備ミニ・フォーラム in 信州大学
(2017. 5. 29 信州大学松本キャンパス)
- 信濃美術館キックオフ・フォーラム
(2017. 7. 15 長野市若里市民文化ホール)

美術館全体に望むこと

- 各世代に合った場所であって欲しい
- 子どもの目線に立った美術館であって欲しい
- 家族で気軽に行ける美術館であって欲しい
- ▲ 気軽に立ち寄れる場としての側面もあって欲しい
- 憩いの場であって欲しい
- フォーマルな雰囲気と気軽さが同居した美術館がよい
- 美術に興味がない人も訪れたい美術館がよい
- 敷居が低くて多面性のある美術館がよい
- 展示以外にも建物や他のデザインに楽しみを感じられるとよい
- 気軽に入館して、無料ゾーンを見て回れるとよい
- 無料ゾーンを充実して欲しい
- ▲ ミュージアムショップやレストラン等を充実して欲しい
- ▲ 休憩スペースを充実して欲しい
- ▲ 屋外に広場のようなスペースがあるとよい
- 機能性を重視した美術館であって欲しい
- 県内美術館の特性を踏まえた美術館のあり方を考える必要がある
- ユニバーサル展示の実現（触れる展示など）
- 収蔵庫の拡充
- ▲ 自ら美術について考えていく場になるとよい
- ▲ 陳腐化しない未来を予想した作り方を目指して欲しい
- 観光客、地域の人々双方にとって魅力ある施設になるとよい
- 50年後も古びず、周辺景観と一体化した美術館であって欲しい
- 美術館の外壁を利用した野外上映会など、公園との一体利用が可能な計画になるとよい
- 作品鑑賞後に美味しいワインが飲めるとよい
- 県内情報や他の美術館の情報が入手できるとよい
- 地元の児童・生徒が親しめる施設になって欲しい
- 地下スペースには、吹抜けやサンクンガーデンなどを設けて閉鎖的にならないようにして欲しい
- 図書館はパブリックな場所に設置して欲しい
- ▲ ユニバーサルデザイン（音声ガイド、多言語対応含む）
- ▲ 学習スペースとしての役割
- ▲ 明るい雰囲気の建物にして欲しい

周辺との関わりで望むこと

- 善光寺と美術館との回遊性、自然に足が向くようになるとよい
- 既存の樹木を活かした森の中の美術館になるとよい
- 城山公園内の野外彫刻が活用されるとよい
- 公園内の治安を大事にして欲しい
- 駐車場スペースを確保して欲しい
- 駐車場の確保
- 駅からの公共交通整備が重要
- 長野駅からの交通の便をよくしてほしい
- 長野電鉄からのアプローチ
- ▲ 駅前や善光寺からの誘導、案内の整備が重要
- 善光寺東庭園、城山公園との一体的整備が望ましい
- 美術館～城山公園～善光寺の距離感をつなぐ工夫
- 噴水にこだわりすぎず、広い視点で市と調整が必要
- 善光寺から建物が見えるとよい
- ▲ 善光寺とマッチした建物がよい
- 善光寺と一緒に観光客誘致を考えるべき

美術館の運営・活動について望むこと

- 芸術家を育てる施設となって欲しい
- 県内で活動している作家の展示、支援をして欲しい
- 若手作家の活動の場になって欲しい
- ▲ 若手の現代作家の作品が見られるとよい
- 若手作家と子どもたちの交流企画があるとよい
- 世代育成を全県に展開する拠点になって欲しい
- 県内美術館との連携（巡回展などを含む）があるとよい
- 県内に限らず、全国の美術館との連携を目指すのがよい
- 県内小規模美術館への人的、金銭的援助をして欲しい
- 人材確保、体制整備を進めて欲しい
- 所蔵品のインターネット検索ができるとうよい
- 県内地域差を補うような特典があるとよい
- 運営ボランティアを募集してはどうか
- 学校教育ではできない教育活動の提供をして欲しい

- ▲ 教育へのアプローチが欲しい
- 次世代育成活動に力を入れて欲しい
- ▲ ここでしか展示されない作品や構成などの特別感があるとよい
- ▲ 独自の企画展、長野県だからできること
- ▲ スタンプラリーのような遊び心があるとよい
- ▲ コレクション展のアピールをした方がよい
- ▲ オール信州としての美術館になって欲しい
- ▲ 城山公園や善光寺との共同企画があるとよい
- 善光寺とのソフト面での協力もできるとよい
- ▲ ロコミ波及効果へのアプローチを考えてもよいのではないかと
- ▲ 普段美術館に来ない人へのアクションが必要
- ▲ 県内に分館を整備してはどうか
- ▲ クラウドファンディングの活用
- ▲ SNS映えするフォトジェニック性や話題性
- デジタル技術との融合をどう考えるか

県民ギャラリーに望むこと

- 十分な壁面の確保
- 工芸や彫刻等の展示への対応
- 搬入路の整備
- 県展クラスの展覧会は、作品を一同に展示できる広さが欲しい

設計者に望むこと

- 利用者の声柔軟に対応してくれる建築家であって欲しい
- 基本設計の段階でも県民の意見を聞く場を設けて欲しい
- 長野県の気候に合った施設設計をして欲しい
- 県産材の活用を検討して欲しい